

保護者様各位

携帯電話の使い方等についてのプリント配布について

荒川区立第五中学校
校長 稲葉 裕之

近年、子どもたちの携帯電話等のメールやインターネットを利用する機会が急激に増加してきており、それに伴い、さまざまなトラブルが社会問題になっています。なかには、「特定の子どもに対する誹謗・中傷が集中的に行われたり、他人になりすまして携帯電話のメールを利用し特定の子どもに対する誹謗・中傷を不特定多数の携帯電話に送りつけたりする（子どもを守り育てる体制づくりのための有識者会議まとめ【第2次】より）」といった事例も発生しております。本校でも、毎年のようにスマホなどによる SNS（LINE、twitter 等）の不適切な利用により、生徒同士のトラブルが起きています。

そこで、このたび、「ネット・SNSの危険性」と題した記事を今号より数号にわたり発行することにいたしました。SNSの危険性について理解を深め、不適切な使い方にならないよう、家庭での話題や家庭内のルールづくりの一助としていただきたく思います。

つきましては、保護者の方にもご一読いただき、後日の最終号に添付する確認票にご記入の上、担任までご提出ください。宜しく願いいたします。

子どもたちに忍び寄る

ネット・SNSの危険性について考えるシリーズ その1



インターネットもできる携帯電話が普及し始め、早 20 年。もはや世界中の人々の生活で欠かせないほどのものになりました。インターネット（以下ネット）は、情報をすばやく探すことができ、世界中のどこからでも、誰からでも、たずねあったり、教えあったりすることのできるとても便利なメディアです。

しかし、もともとは善意のメディアであったものが、営利目的の利用に使われたり、モラルやルールを学ばないうちに使う人が増え、人を苦しめたり、苦しんでいる人を見て喜んだり、トラブルを起こしてストレスを解消するような悪意のネットワークとなってきた状況にあります。

このネットの世界に、経験や判断力の未熟な子どもたちが（高校生以下の全ての子どもたちが）かわりを持ち、（現実にそれを望む営利団体や、悪いことを仕掛けてくる大人たちもいます）現実にどんな影響を受け、どんなことが起きているのか？考えていきたいと思います。

LINE にふりまわされる子どもたち

【LINEとは】

インターネットを通じて無料で通話やメールができるスマートフォン向けのアプリで、スマートフォンの電話帳にお互いが登録されていれば自動的に「友だち」として認識され、やりとりができる仕組みで、本来は特定の仲間との交流を目的に開発されました。



LINE の魅力は、複数人で同時にチャットできるグループを作れることでしょう。それからスタンプがとてもかわいくて、いろんな機能が付いています。それから相手が自分のメッセージを読んだかどうか、**既読通知**があるのですぐにわかります。

でも、この既読通知が、実はすごい曲者なのです。子どもたちからすると、「既読って出てるのに、なんですぐ返信しないの?」「無視かよ!?!」既読の表示が出て返信が来ないと怒り狂う子どもたち。また「既読ついちゃうから、早く返信しないと」と他のことが手につかなくなる子どもたち。

受け取る相手には発信する人からは見えない事情があったり、すぐに返信できない状況にあることもあるという事を思いやることができないのです。

こうなると、本来便利な機能だったはずのものが、人間関係を壊すもとになる恐れも出てきます。

グループの会話の中で自分が見ていない間にどんな会話が進んでいくのか気になって離れることができずに、布団の中にまでスマホを持ち込み睡眠不足になってしまう健康被害も起こります。



LINEの魅力の一つである、グループ内の複数に一齐にメールが送れることは、グループ内で様々なディスカッション(話し合い)ができる点にあります。これがグループ内の特定の人への誹謗中傷に使われ、悪口、いじめに悪用されることもあります。

『見たくないメッセージは、見ない、気にしない』なんてことは、分別のある大人はできても、人からどう見られているかが一番の関心事である年頃の子供たちにはムリというもの。ならば、

LINEに悩まされることがあれば、思い切って退会するのもひとつの方法です。

LINEがなくても友だちと連絡は取れます。それで友だちとしてつき合えなくなってしまうのなら、本当の友だちとは言えないと思います。

LINEに限らず、TwitterやFace bookなどのソーシャルネットワーキングサービス(SNS)は、不要な書き込みによって自分がいつの間にか、いじめの加害者になっていたり、意図していなかったのに、問題がいつの間にか大きく広がってしまう危険性もあります。自分でそんなつもりはなかったとしても、誰かを傷つけていたり、追いつめていたりすることがあるのです。

グループ内の人にしか見られないからと、こっそりグループではない人のことを話題にした時でも、実はネット上にアップされたものは記録が残るので(たとえ自分のところで削除しても、他の誰かのところで残っている)、いろんなルートでグループ外の人に見られることが起こり得ます。だから、

誰かを嫌な気持ちにさせる言葉や

誰かが傷つくような言葉は、

ネット上に載せてはいけない!!

*ご家庭でも、これを話題としてお子様の話し合ってみてください。よろしくお願ひいたします。